

海底土核種分析結果

参考値

(データ集約: 3/7)

採取場所	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)				
試料採取日 時刻	平成24年3月5日 採取中止				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	-				
Cs-134 (約2年)	-				
Cs-137 (約30年)	-				

悪天候のため採取中止

海底土中の Am, Cm 分析結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日 分析機関	Pu-238 ^{*1}	Pu-239 + Pu-240 ^{*1}	U-234 ^{*2}	U-235 ^{*2}	U-238 ^{*2}	Am-241	Cm-242	Cm-243 + Cm-244
岩沢海岸沖合 8km	11月18日 日本分析センター	(1.9±0.53) × 10 ⁻²	(5.3±0.35) × 10 ⁻¹	(6.6±0.34) × 10 ⁰	(3.6±0.60) × 10 ⁻¹	(6.8±0.35) × 10 ⁰	(2.4±0.19) × 10 ⁻¹	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
1～3号機における平均核種濃度比(Pu-238を1とした場合の比) ^{*3}		1	-	-	-	-	0.1	10	1

*1: 平成24年1月20日公表 *2: 平成24年2月2日公表 *3: ORIGENコードによる計算値(概数)

2. 評価

今回検出された Am-241 は、以下の理由により、今回の事故に由来するものとは判断できない。

- ・ 検出された Pu-238 は、国内における過去の測定値の範囲内であり、また、Pu-239+Pu-240 については、福島第一および福島第二付近の海域における過去(平成11年度～平成20年度)の測定値の範囲内であること
- ・ 検出された U-234, U-235 及び U-238 は、天然に存在するものと同じレベルと評価されること
- ・ 自然界に存在しない核種である Cm-242, Cm-243+Cm-244 は、検出されていないこと

以 上